

首都圏初開催！被災地から届く災害の自分事化へのヒント
『「震災伝承施設」深化の会』開催のお知らせ

東日本大震災の被災地には、命を守る教訓を今に伝える「震災伝承施設®」が数多くあります。震災から 15 年を前に、被災地外に住む人々にも災害を“自分事(じぶんごと)”として考えてもらうため、被災地で活動する震災伝承施設が、はじめて東京に集まり、取り組みを発信します。

1. 「震災伝承施設」深化の会

- 1) 日 時： 令和 7 年8月 30 日(土)13 時 00 分～15 時 30 分
(開場時間:12 時 30 分)
- 2) 場 所： 東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」2F
レクチャールーム (東京都江東区有明 3-8-35)
- 3) 主 催： 一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構
- 4) 共 催： 国土交通省東北地方整備局、岩手県、宮城県、福島県
- 5) 内 容： 東日本大震災の被災地にある震災伝承施設 活動報告
 - ① いのちをつなぐ未来館(岩手県釜石市)
 - ② 東日本大震災津波伝承館(岩手県陸前高田市)
 - ③ 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館(宮城県気仙沼市)
 - ④ いわき震災伝承みらい館(福島県いわき市)
- 6) その他： 会場参加者 100 名定員
オンライン参加者に定員はございません。(別添、開催チラシ 参照)

教訓が、いのちを救う。



(一財)3.11 伝承ロード
推進機構 ロゴマーク

2. 取材について

- 1) 深化の会はオンラインも含めて公開で行います。
撮影・取材を希望される報道関係者の方は、8月 27 日 17:00 まで
別紙の取材申込書にご記入の上、電子メールにて必ずお申し込みください。
- 2) 当日は、13 時までに「そなエリア東京」2 階学習施設の報道受付まで
お越しください。
- 3) 駐車場の用意はありませんのでご了承ください。

<発表記者会> 東京都庁記者クラブ

【お問い合わせ先】

一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構 原田、石森

TEL : 0 2 2 - 3 9 3 - 4 2 6 1 E-mail : info@311densho.or.jp

教訓が、いのちを救う。



① いのちをつなぐ未来館



② 東日本大震災津波伝承館



③ 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館



④ いわき震災伝承みらい館

3.11
DENSHO
ROAD

「震災伝承施設」深化の会

～伝承活動による災害の自分事化に向けて～

参加無料

近年、自然災害が激甚化・頻発化する中で、「いのちを守る」行動を促す災害の自分事化が喫緊の課題となっており、災害伝承の役割はますます高くなるとともに、震災の記憶や教訓を伝える震災伝承施設の期待も従前にも増して大きくなっています。

このような背景を踏まえて、内閣府と国土交通省では地域において災害やその教訓をわかりやすく伝える活動を「NIPPON防災資産」と認定する制度を創設し、第1回認定がなされ「3.11伝承ロード」が優良認定の一つとして選定されました。

この度の「優良認定」を機に、災害の自分事化に貢献する、より深く高みを目指した伝承活動となる、震災伝承施設の本気の伝承活動を紹介する『「震災伝承施設」深化の会』を開催することとしました。

令和 7 年

首都圏初開催!!

日時

8月30日 土 13:00 ~15:30

会場

東京臨海広域防災公園
「そなエリア東京」
2F / レクチャールーム

オンライン同時配信



Google Map

参加申込み方法は裏面をご覧ください ➡

プログラム

開 会

13:00

- 主催者挨拶
- 来賓挨拶

活動報告

13:15

東日本大震災における 伝承活動報告 4 施設

- ① いのちをつなぐ未来館 (岩手県釜石市)
- ② 東日本大震災津波伝承館 (岩手県陸前高田市)
- ③ 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 (宮城県気仙沼市)
- ④ いわき震災伝承みらい館 (福島県いわき市)

- 進 行: 東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤 翔輔氏
- 質問者: ● 全国地方新聞社連合会 副会長 (岩手日報社 取締役執行役員東京支社長) 菅原 智広氏
- 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 くらしづくり・地方創生部門 観光・地域活性化ユニット マネージャー 引地 美香氏

閉 会

15:30

主催 (一財)3.11伝承ロード推進機構

共催 国土交通省 東北地方整備局 岩手県 宮城県 福島県

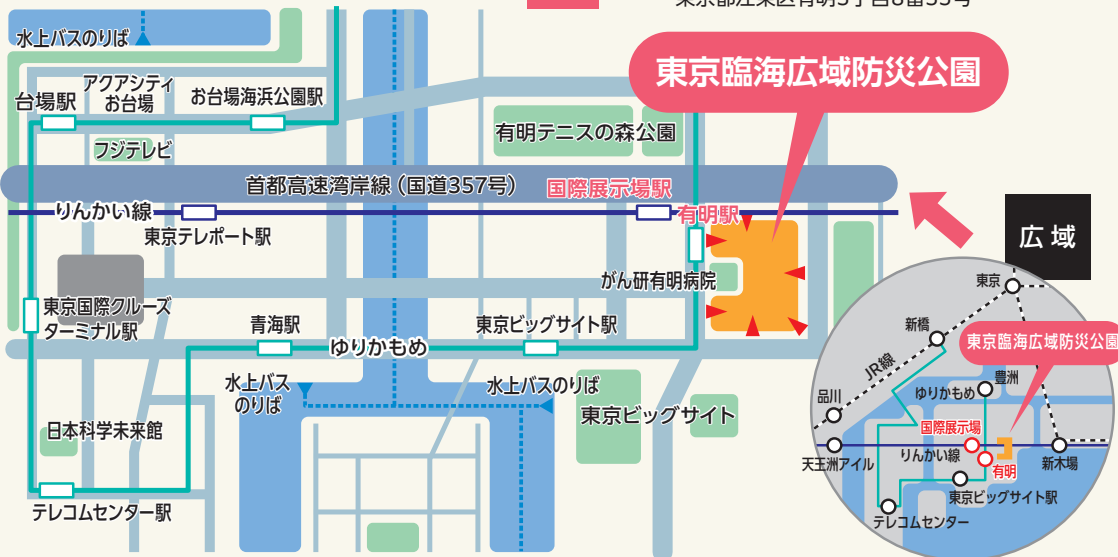
後援 (一財)国土技術研究センター

問 TEL.022-393-4261 FAX.022-393-4271 (一財)3.11伝承ロード推進機構 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-2-26 コンヤビル3階

会場のご案内

会場 国営東京臨海広域防災公園

東京都江東区有明3丁目8番35号



【電車】 東京臨海高速鉄道りんかい線「国際展示場」駅より 徒歩4分
ゆりかもめ東京臨海新交通臨海線「有明」駅より 徒歩2分



【バス】 ●都バス 門19甲系統「がん研有明病院前」停留所より 徒歩2分
●都バス 東16系統「有明二丁目」停留所より 徒歩7分

申込み方法

【Googleフォームによる方法】

右記二次元コードよりアクセスの上、①氏名、②所属、③役職、
④参加形態（会場参加 または オンライン参加）、⑤E-mail、⑥電話番号
をご記入ください。



◆ 申込メ切 …… 8月 25日 (月) 17:00 ◆

※但し、会場参加は定員（100名）に達しましたら申込を締め切らせていただきます。

災害を「自分事」としてとらえるために

近年、首都圏直下型地震や南海トラフ地震への備えが問われる中、私たち一人ひとりが「災害を自分事としてとらえる力」を育むことが、命を守る第一歩となっています。

東日本大震災の被災地では、地域ごとに異なる被災の実態と向き合いながら、命を守る教訓を今に伝える「震災伝承施設®」が活動を続けています。

そうした施設の実践を紹介し、災害伝承の価値を深めていく場として、本イベント『「震災伝承施設」深化の会』を東京にて開催します。

「防災の意識を高めたいけど、
何から始めたらいいかわからない」

「東日本大震災から学ぶべきことを、もう一度考えたい」

そんなあなたにこそ、ぜひ足を運んでほしい時間です。

【施設紹介】



いのちをつなぐ未来館

楽しく学べる体験型プログラムを通じて、震災の教訓を伝え、命を守る力を育んでいます。



東日本大震災津波伝承館

東日本大震災津波の事実と教訓を世界中の人々と共有し、自然災害に強い社会を一緒に実現することを目指します。



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

被災校舎の遺構と中高生も参加する語り部活動を通じて、災害を「自分事」として考える力を養っています。



いわき震災伝承みらい館

津波被災地に立地し、パネルや映像、被災した現物資料の展示や語り部講話などを通じて、震災の記憶や教訓を伝えていきます。

「震災伝承施設」深化の会
取材申込書

1. 貴社名 _____

2. 取材者人数 _____ 名

(ふりがな)

3. 氏名 _____

氏名 _____

氏名 _____

4. 代表者の連絡先 携帯電話 _____

※当日に連絡がとれる番号を記入願います。

メールアドレス _____

○申込み先 E-mail : info@311densho.or.jp または Googleフォーム

※取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。



Googleフォームでの申込は
こちらの二次元コードをご
利用ください